

学校支援活動事業訪問

大玉村訪問【大玉村立玉井小学校】

訪問日：令和元年11月1日（金）12：30～14：35

場所：大玉村立玉井小学校

内容：第5学年「本揃田植え踊り」での学習支援ボランティア

玉井小学校の5年生は学習発表会で地域伝統の「本揃田植え踊り」の発表を行います。本日は学校支援ボランティア、保護者の方の協力により田植え踊りの着付けを行いました。子どもたちは「九六（きゅうろく）」「早乙女（さおとめ）」「奴（やつこ）」の役に分かれて着付けをしていきます。学校支援ボランティアや保護者の方が複数で着付けを手伝うので、子どもたちはみるみるうちに鮮やかな装束を身にまとい、大満足の笑顔が見られました。

その後、体育館で地区の保存会の方の支援をいただきながら学習発表会に向けての練習を行いました。伝統に則った踊りや歌、長い口上をしっかりと演じる様子を、保存会の皆様の厳しくも温かいまなざしが見守っていました。



【校長先生の声】

本活動は地域の保存会と、学校支援ボランティア、保護者が関わっているところに特徴があります。子どもたちは多くの人々との関わりの中で地域の伝統芸能を体験し、ふるさとの大切さを学んでいます。2月に予定されている村の伝統芸能発表会でも地域の自然の豊かさや人々の優しさ、そしてこの村に生まれ育った喜びを伝えていく予定です。

【ボランティアの方の声】

○三世代での活動に、とてもやりがいを感じます。保護者の方にも笑顔が見られます。

【保護者の方の声】

○親も着付けを学ぶところから始めました。親子のふれあいとしてとても楽しいです。

【保存会の方の声】

○子どもたちは難しい口上や踊りをよく覚えて頑張っています。親も子どもも学校も、皆で取り組んでくれることがありがたいです。いつまでも続いてほしいと思います。

【児童の声】

○去年の5年生の発表を見て憧れていました。踊りも着付けも地域の皆さんがとても優しく教えてくださいます。きれいな着物を着ることができてとても嬉しいです。

本活動は、従来学校支援ボランティアの方が子どもの着付けを支援してきました。しかし、着付けの手順は難しく、手間もかかるため昨年度から保護者の方にも協力を請うことになりました。そのため、保護者の方に対する着付けの講習会を2回行った上で本活動に臨んでいます。

こうして、学校支援ボランティアの方のみならず保護者の方も学校支援に関わることで、地域の伝統がより確かに継承される活動になっています。

